

令和 8 年 4 月 20 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム 久米の家

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

共用型認知症通所介護

会議開催日…令和 8 年 3 月 25 日（金） 14 時 30 分～16 時 00 分まで

開催場所…小規模多機能型居宅事業所 ほっと 2 階 ホール

出席者

事業所	2 人	利用者	0 人
利用者家族	0 人	地域代表者	5 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	0 人	その他（ほっと職員）	2 人

議事

○外部評価

別紙添付参照

○1～3 月の活動報告とヒヤリハットの対応について

利用者 9 名（女性 5 名 男性 4 名）

共用型通所 1 名（女性 1 名） 2 月・3 月は利用なし

年 齢 平均 86.7 歳 最少 74 歳 最高 91 歳

介護度 介護 1（5 名） 介護 2（2 名） 介護 3（2 名）

介護 4（0 名） 介護 5（0 名） 平均 1.6

共用型通所 1 月 介護 1（1 名）2 月 （0 名）

職 員 管理者 1 名

ケアマネージャー 1 名

＊介護短縮時間制度利用（毎週土曜日）

介護職員 10 人（常勤 7 人 非常勤 2 人）

＊子の短縮時間制度利用 3 名

調理職員 2 名（非常勤 2 名）

70 歳代（3 人）60 歳代（2 人）50 歳代（1 人） 40 歳代（3 人）30 歳代（2 人）

・事故、苦情、感染症・・・なし

・ヒヤリハット・・・1 件

➡体調不良で居室対応中のご利用者様が日中窓から外に出て敷地内に立っておられるのを発見する。トイレを探して大きな居室の窓から出られた様であった。その 5 分前には、巡視をしており居場所確認がしてあったが数分の出来事であった。

➡対策として居室対応時は、勤務者全員で居場所確認を意識

・1 月の島根県の地震の際に BCP を発動し、各班が声を出し合って余震に備えた事を伝える。その日は、夜間も余震に備えていつ地震があってもいい様に準備を行った。

また、地震時安否確認の職員連絡も LINEWORKS でスムーズに行えた。

地震後その経過を含め各班のマニュアルの改善に繋げた。

- ・ 集団指導に Web で参加し、参加後 BCP の見直しを委員会で行った。
- ・ グループホーム部会に参加し、1 月の初動対応時の話を行った。

○意見交換

- ・ 前回も意見交換時にあったが外部評価が難しいという意見が多かった。運営推進会議で事業所報告で聞いた事等で評価したが、全体的によくケアをされていると感じた。
- ・ 全てを評価するのは難しかった。
- ・ 集団指導に参加後すぐに話し合いを行われ、災害に取り組んでいる姿勢が評価出来た。
- ・ 地域の方が古新聞を持って来られたり、地震の時も町内会長が安否確認に来られたりとい
い関係作りをされている。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○